

## 田川会長らが「日露フォーラム」参加 双方向交流のさらなる拡大強化を

JATAの田川博己会長と菊間潤吾副会長、志村格理事長、越智良典事務局長は4月26日から5月1日までの6日間にわたってロシアを訪問、モスクワで開催された「日露フォーラム2018」（毎日新聞社・ロシア新聞社主催）に参加したほか、サンクトペテルブルグで要人を表敬しました。同フォーラムには、日本から観光関連団体や経済団体など25団体が参加しています。

27日のメインフォーラムでは、自民党の二階俊博幹事長が基調講演を行ったのに続き、パネリストとして登壇した志村理事長が「日本からの海外渡航者の現況」について説明しました。理事長は、極東ロシア方面へ



二階幹事長（中）と田川会長（右）がマトヴィエンコ議長（左）を表敬

の航空路線での増便に伴い、日本からの旅行者も増加が予想されるものの、ロシアでのサッカーW杯の試合開催地や冬のオーロラの観光地のプロモーションをさらに強化する必要があると指摘しています。

28日には、サンクトペテルブルグで田川会長が二階幹事長に同行し、ロシア連邦議会のワレンチナ・マトヴィエンコ上院議長と会談。今年は「ロシアにおける日本年」と「日本におけるロシア年」であり、両国間の友好関係を大切にいくことを双方で確認しました。

## 新規客層開拓へ向け予算拡大へ ブランドUSAとの合同会議開催

JATAとブランドUSAは5月21日、米国のデンバー・コンベンションセンターで合同会議を開催しました。

合同会議には、JATAから志村格理事長、古澤徹日本・アメリカ旅行促進部会長らが出席し、キャシー・ドマニコ・バイスプレジデントを代表とするブランドUSA側の関係者らと協議を行っています。

会議では、JATA海外旅行推進部の薦田祥司副部長が昨年の合同会議後におけるブランドUSAとの共同活動について報告

また、27日に開催された「訪日観光促進観光交流会」について、日本政府観光局（JNTO）の大石英一郎海外プロモーション部長はJATA記者会見で、「2016年12月にJNTOMoscow事務所を開設し、2017年1月からビザ発給要件などの大幅な緩和や航空路線の増便が実施されたことなどから、昨年は訪日ロシア人旅行者数が前年比40%増と急伸した」と、その背景を説明しています。

2016年の日露両国首脳による相互訪問を機に、日露間における観光交流の推進のため、共同経済活動プログラムに関する覚書も調印されており、JATAアウトバウンド促進協議会ロシアワーキンググループは、ロシアへの渡航者拡大を目指して活動を行っています。

し、日本全国での19回にわたるセミナーの開催や新企画旅行商品開発のためのツアープランニングコンテスト、業界向け共同研修旅行の実施などについて説明しました。

また、日米間の観光交流をめぐる意見交換では、ブランドUSA側から2016年度の訪米日本人旅行者が約360万人に達して全体の第4位となり、その消費額が16億ドルに達したことが紹介されると同時に、新たな旅行需要の開発や教育旅行の取り組み強化などが要請されました。J



JATAとブランドUSAの合同会議参加者

AATA側からはオンライントラベルエージェンツ（OTA）が台頭する中で、付加価値の高い旅行商品開発や新規顧客層を開拓する必要性が高まっていることを指摘し、BtoBの重要性を踏まえた日本市場向けのプロモーション予算の拡大を要望しています。

JATAと旅行業界関係者ら約70人は、5月20日から23日までの4日間にわたりデンターで開催された「インターナショナルパウワウ（IPW）2018」に参加し、米国のサプライヤーと商談を行いました。来年のIPW2019は、アナハイムで開催される予定です。

## 「観光の持続可能な成長」めぐり議論 PATA年次総会41カ国・地域から372人

アジア太平洋観光協会(PATA)年次総会が5月17日から20日までの4日間にわたって韓国の平昌で開催され、日本からは吉村久夫PATA日本支部会長や澤邊宏JATA国際センター長など14人が出席しました。

今年2月の平昌冬季五輪でカーリング会場となったコンベンションセンターで開催された年次総会には、41カ国・地域から182の政府機関・団体・企業の372人が集まり、「Building Bridges, Connecting People:How Collaboration Creates Opportunities」というメインテーマのもとに実施された各セッションなどで「観光の持続可能な成長」の具体的な展開策などをめぐって活発な議論が繰り広げられました。

特に、観光産業の成長にとって重要課題の一つである「雇用創出」については、雇用機会



PATAのMario Hardy CEOと吉村久夫日本支部長

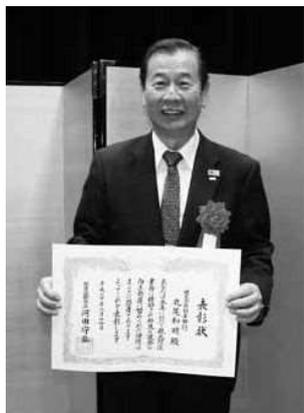
の規模だけでなく、さまざまな雇用の質や収入の向上に踏み込んで議論が深められています。

戦後、世界最大のソースマーケットだった米国からの旅行者をアジア太平洋の各国・地域へ誘致することを主な目的として発足したPATAは、日本ではインバウンド中心の観光団体として認識されてきましたが、アジア太平洋の各国・地域からの国際旅行者が急増する中で、インバウンドアウトバウンド双方の需要拡大を目指す日本にとって「双方向交流を促進する」観光団体としての存在意義を高めています。

さらに、アジア太平洋地域のツーリズム産業における共通課題の解決に向けても、日本によるPATAへの積極的な参画が強く求められる時代を迎えています。

### 日本旅行の丸尾会長が受賞 関東運輸局・観光関係功労者表彰

関東運輸局は6月14日、横浜市開港記念館で「陸運及び観光関係功労者表彰」



日本旅行の丸尾会長

東運輸局長表彰」を行いました。

今年度の観光部門における功労者表彰は、JATA副会長を務める日本旅行の丸尾和明代表取締役会長(写真)が受賞しています。

### 北海道支部

- 5月24日 国内旅行委員会
- 5月25日 海外旅行委員会
- 5月30日 地区連絡会(函館地区)
- 5月30日 海外旅行セミナー(函館)
- 6月19日 海外旅行セミナー(北見)
- 6月20日 海外旅行セミナー(旭川)
- 6月23日 環境保全活動(外来植物駆除：ウトナイ湖)

### 東北支部

- 5月23日 海外旅行委員会
- 6月15日 幹事会
- 6月15日 旅行業校正取引協議会

### 関東支部

- 6月7日 海外旅行委員会
- 6月12日 幹事会
- 6月13日 LADY JATA委員会
- 6月24日～26日 総務委員会・国内旅行委員会(北海道)

### 中部支部

- 6月21日 幹事会

### 関西支部

- 5月19～20日 関空旅博2018
- 5月23日 国内旅行委員会

5月24日 消費者相談委員会

5月31日 インバウンドツーリズム委員会は6月2日～3日 第7回熊野古道「道普請」

6月14日 消費者相談委員会

### 中四国支部

- 6月1日 幹事会
- 6月8日 海外旅行委員会
- 6月12日 広島空港CIQ研修
- 6月19日 総務委員会
- 6月22日 「えひめ旅フェスタ2018」ワークショップ商談会&意見交換会
- 6月23日～24日 「えひめ旅フェスタ2018」

### 九州支部

- 5月24日 消費者相談委員会
- 5月28日 海外旅行委員会
- 5月30日 国内旅行委員会
- 6月2日 寺子屋JATA(A)
- 6月3日 寺子屋JATA(A)
- 6月14日 幹事会
- 6月19日 実務委員会

### 沖縄支部

- 6月20日 国内旅行委員会
- 6月21日 消費者相談委員会
- 6月27日 海外旅行委員会
- 7月6日 教育研修委員会
- 7月10日 訪日旅行委員会
- 6月12日 支部年次定例会
- 7月10日 新入社員研修